

琉大熱研公開講座

身近なヤモリの隠れた面白さ 進化、多様性、外来種問題

岡本康汰 先生

(国立科学博物館・分子生物多様性研究資料センター)



ヤモリは、家の壁や街灯の下でも見かける、とても身近な爬虫類です。八重山からは5種のヤモリが知られており、その中には未記載種（まだ学名がついていない種）と考えられるものもあります。ヤモリは「どのように種が分かれてきたのか（種分化）」や「オス・メスがどう決まるのか（性決定）」など、進化の不思議を解き明かすカギを与えてくれる生き物としても興味深い存在です。一方、人の暮らしに近い分、貨物などに紛れて別の地域へ運ばれ、外来種として広がる問題も起きています。八重山で見られるヤモリを中心に、その多様性と進化、そして外来種としてのリスクについて、これまでの研究とこれから挑戦したい課題をお話しします。

日時：2025年 **10** 月 **7** 日 (火) **19:00** – 20:00頃

会場：琉大熱研・西表研究施設・セミナー室

入場無料・事前申し込み不要 (座席数には限りがあります・30席予定)

問い合わせ先

琉球大学・熱研・西表研究施設・事務室

電話：0980-85-6560

公開講座問い合わせフォーム →

